

宿泊支援でなく十分な補償を！

「愛郷ぐんま+てんぐー」の宿泊支援分を業者直接支援へ

大阪 700 人超、東京 500 人超と新型コロナウイルス感染症は「変異株」に置き換わり、全国的にも広がりがつあり、いよいよ第 4 波到来です。

このような状況なのに群馬県は愛郷ぐんまプロジェクト第 2 弾などといって、県内宿泊施設に泊まった県民に 1 人 1 泊 5000 円のキャッシュバックを 5 月 31 日まで行っています。沼田市もこの利用者に「てんぐーポイント」3000 点を上乘せします。つまり、1 人 1 泊 8,000 円が補助されるということです。

県内もほとんど毎日二ケタの感染者が出ています。このような状況を考えれば、感染拡大を後押しするような施策ではなく、感染防止や困っている事業者を直接支援することに財政を投入すべきではないでしょうか。愛郷ぐんま、てんぐーとも国からのコロナ対策資金で行われています。



井之川博幸市議

コロナ対策21年度補正予算を早く

国の今年度予算には予備費以外にコロナ対策予算がありません。

日本共産党は、長期化している「コロナ不況」対策として、十分な補償や持続化給付金の再給付、生活に困窮する全世帯にただちに届く給付金などの手立てが必要であり、また、

感染防止対策として検査の大規模な拡大も不可欠で補正予算を早くと主張しています。



満開になった十王公園の桜

佐山の処分場建設＝20人超が反対意見

上佐山町の山地に（株）ウイズウエストジャパンは一般廃棄物最終処分場の建設を計画していますが、事前協議書を令和 2 年 7 月に県に提出し、縦覧が行われ、地域住民からの反対意見書が県に対し 20 人以上から提出されていることが明らかになりました。

ウイズウエストジャパンは、平成 28 年 10 月にも嬭恋村に同様の一般廃棄物最終処分場を計画し事前協議書を提出していますが、現在も事前協議書の縦覧中となっています。



6年前の豪雨災害で水路があふれ道路が冠水した建設予定地の下流地区

3月議会報告 21年度特別・企業会計にも問題あり

先号まで一般会計の問題点を報告しましたが、国保特別会計は、国保税は被保険者世帯の所得に占める割合が最も高い部類の税金です。引き下げることこそ必要なのに、財政管理は都道府県に任せ住民の声が届きにくくして、もっと引き上げようとしています。

介護保険特別会計は、保険料を引き上げるとともに利用料も引き上げ、保険適用外を増やす改悪が続いています。後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者を差別するとともに、窓口負担の 2 倍化を狙っています。

水道・下水道・簡易水道の各企業会計は、生活用水に消費税を上乘せしています。

2021年4月11日 No.1013

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料